

議題（２）資料 別紙

家庭系ごみの減量化・資源化の促進（ごみの有料化導入）について

委員から出された主な意見

【平成31年度第1回】

- (1) 市民一人一人がきちんと意識改革できていけるのが一番いいのでしようけれども、今の現状からして有料化するのは致し方ない。
- (2) 実際に手数料水準を引き上げるということは、非常に至難の業ですので、そういう意味ではある程度、高めの手数料を設定したほうがいいのではないか。
- (3) 有料化する自治体は、子育て支援とか高齢者でも紙おむつを使う家庭が増えている。そういう場合は、なかなかごみを減らせない事情ですので、紙おむつは無料にする自治体が増えている。白井も減免措置を行ったほうが良い。
- (4) 紙おむつ専用の袋か少し安い単価の袋にするなど検討してほしい。
- (5) 資源ごみが含まれた燃やすごみについては、きちんと分別をする。生ごみは、水気を切ることが重要である。
- (6) 生ごみの水分を減らす運動が大切ではないか。
- (7) 財政が圧迫されているから有料化するのではなく、あくまでもごみを減らすために市民の皆さんに意識を高く持ってもらう意味合いで有料化するのが良いのではないか。
- (8) ごみの減量化に対する意識を高めるため有料化することをきっちり広報する。
- (9) ごみ処理の負担金は、清掃工場に搬入された量に応じて負担金が変わってくる。負担金は税金であるのだから、この負担金が多くなればなるほど教育や子育てに使えるお金がごみ処理に使われることになるので、理解して負担金を減らすために有料化することを白井市民に周知することが大切である。

【平成31年度第2回】

- (1) 税金を少しでも減らす、無駄遣いを減らすということならば、なるべく印西市と共同でやった方が効率的ではないか。
- (2) 印西市と一緒に有料化をやっていくとしても、白井の問題点をどこ

にするのか減量化なのか、価格を低く設定するのかなど色々な議論が有料化前に必要ではないか。

- (3) 印西市も家庭ごみの有料化について考えているとのことなので積極的に白井市から印西市の方に積極的に動いてほしい。
- (4) 印西市の有料化を待っている必要はなく、進まないのであれば白井市単独でやっていくぐらいに持っていくのがいいのではないか。

【令和2年度第1回】

- (1) 2市1町で有料化の具体的な検討に入れるのかどうかを、きちんと確認してやるのであればそれが望ましいことで、その方向で進めていくのが一番いいのではないかと思います。足取りが重いということであれば、白井市単独で進めていくことは十分あり得ることだと思ふ。
- (2) 有料化するにしても、有料化する理由を市民にきちんと理解してもらわないと、今もうすでに有料化されるとある地域ではなっているので誤解のないようお願いしたい。

以上の中から、いくつかを答申書の付帯意見としたい。